



院内感染対策ニュース

第95号 2021年9月22日

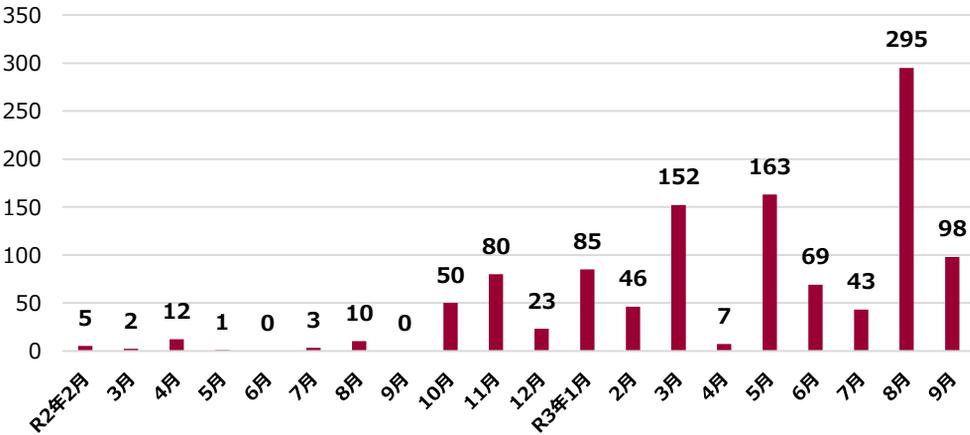
院内感染対策委員会

釧路管内の新型コロナウイルス感染症発生状況について

暑かった夏も終わり、食べ物の美味しい季節になりました。8月の釧路管内陽性者数は約300人、クラスターも5件確認されています。帰省などで人流が増えたことや変異株への置き換わり、ワクチン接種後の「ブレイクスルー感染」も話題になっています。第5波はまだ落ち着かない状況です。今回も釧路管内の感染状況について取り上げます。

釧路管内 COVID-19発生件数

9/20現在



5月がこれまでで最も多い感染者数でしたが、8月は約2倍の陽性者が発生しました。最近の特徴としてワクチン未接種世代の陽性者が増えています。9月はすでに80人以上の陽性者が発生、クラスターは2件、家族内感染が増加、職場や学校などにも影響が出ています。今後にも気を引き締めて感染対策を行ってください。



最近話題のこれって何？最近よく聞く言葉について簡単に説明します。

ブレイクスルー感染

どんな感染症のワクチンでも、その効果は100%ではありません。ワクチンを接種した後も感染する可能性があります。それを「ブレイクスルー感染」と呼びます。新型コロナワクチンの場合、2回目の接種を受けてから2週間程度で免疫が獲得されるといわれていますが、それ以降に感染した場合をブレイクスルー感染と呼んでいます。

新型コロナウイルスのワクチンはインフルエンザワクチンのように、感染を防ぐ効果は十分ではありませんが、重症化を防ぐ効果があります。現在はデルタ株が主流となり、ブレイクスルー感染が増えていると言われています。この変異株は感染力が拡大しただけではなく、ワクチンで獲得した免疫が効きにくいと考えられています。ワクチンを2回接種しても、いつどこで感染してしまうかわかりません。

ワクチン未接種世代の感染者が増加しています。この未接種世代は仕事をしていたり、学生だったり、小さな子供を持つ世代でもあります。感染者が増加すると様々な方面に拡大することが予想されますので、引き続き感染対策の徹底が重要です。

抗体カクテル療法

軽症患者に対して重症化を防ぐ目的で行う治療法です。



ウイルスは細胞内に入ること増殖します。抗体カクテル療法は2種類の中和抗体が新型コロナウイルスの突起に付着、ヒトの細胞にウイルスが付着するのをブロック。ウイルスの増殖を抑え、重症化を防ぎます。

この治療法は全ての患者が対象ではなく**軽症、酸素を必要としない、発症から7日以内、重症化のリスクがある基礎疾患がある（糖尿病、肥満、高血圧など、年齢50歳以上）方です。**

1回の点滴により治療は終了し、経過観察します。副作用がないわけではありませんので、点滴後の観察が必要となります。



新型コロナウイルス感染症対策のお願い

北海道では9月30日まで緊急事態宣言が発令されています。徐々に陽性者発生は減少しているように思いますが引き続き気を引き締めていきましょう。これから、インフルエンザの流行期も迎えます。デルタ株が主流になり、ワクチン未接種世代の感染者が増加しています。今後も最新の情報をご確認下さい。検査を受けた方は、結果が出るまでは外出せず、ご自宅で結果をお待ちください。症状が続く場合はかかりつけ医や保健所、北海道相談センター等にご相談下さい。受診に際してはこれまで通り、直接医療機関へ赴くことはお控え下さい。受診の際には必ず、マスクを着用して下さい。当院の受診時は付き添いの方は1名までとさせていただきます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。